

ぼらっと

『ぼらっと』とは「ぶらりと」気軽に、「ボランティア」しましょう!!という造語です。

[第52号]

2014/2/27



発行元

〒020-0541 雫石町千刈田82-2

雫石町総合福祉センター内

雫石町社会福祉協議会ボランティア活動センター

電話/692-2230 FAX/691-1140

e-mail/shizukuishi-vc@shisha.or.jp

http://www.shisha.or.jp/

社協のBlogもチェックしてネ!

平成26年度 ボランティア活動保険の受付が始まっています! ～ボランティア保険Q&A～

昨年度は、全国各地で災害が数多くあったことにより、「ボランティア活動保険」への加入者数が増加しております。

♥ ボランティア活動保険とは ♥

日本国内におけるボランティア活動中における様々な事故に対する備えとして無償で活動するボランティアの方々を補償する保険です。

♥ ご加入頂ける方 ♥

- ・ 社協会費を納めている方。
- ・ 町ボランティア活動センターに登録している個人ボランティア、ボランティア団体など。

♥ 対象となるボランティア活動 ♥

「自発的に社会貢献する無償のボランティア活動」で、グループの会則に則り企画立案された活動であること。

- ・ 社会福祉協議会に届け出た活動。
 - ・ 社会福祉協議会に委嘱された活動。
- などが、該当する活動になります。



♥ 補償期間 ♥

平成二十六年四月一日から平成二十七年三月三十一日まで（中途加入の場合には、加入手続き完了日の翌日午前零時から）。



♥ 保険料・加入方法 ♥

天災タイプ	基本タイプ
天災A 460円	A 300円
天災B 690円	B 450円

♥ 補償金額 ♥



保険金の種類	Aプラン	Bプラン
死亡保険金	1,200万円	1,800万円
後遺障害保険	1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
入院保険金日額	6,500円	10,000円
手術 保険金	入院中 65,000円	100,000円
	外来 32,500円	50,000円
通院保険日額	4,000円	6,000円
賠償責任保険金	5億円 (限度額)	5億円 (限度額)

町社協に、加入申込用紙がございましたら、用紙に必要事項を記入、捺印の上、保険料を添えて、提出下さい。団体で、加入する場合は作成した名簿を提出下さい。

♥ ボランティア活動保険Q&A ♥



Q 基本タイプと天災タイプの違いは、どのようなものですか?

A 「基本タイプ」は、ボランティア活動中のケガと損害賠償責任を補償するタイプですが、天災によるケガは補償されません。一方、「天災タイプ」は、基本タイプの補償範囲だけではなく、天災（地震、噴火、津波）によるボランティア自身のケガをも補償するプランです。



災害ボランティアとして活動される場合は、天災プランにご加入下さい。



Q 複数のボランティアグループに所属してボランティア活動をしている場合、それぞれのグループで保険に加入しなければなりませんか?

A いいえ。所属のボランティアグループのうち、どこか1ヶ所だけ加入手続きを行ってください。他のグループにおける活動についても補償されます。

Q ボランティア活動中とは、どこからどこまでをいうのですか?

A ボランティア活動中とは、ボランティア活動を行う目的をもって通常の経路により住居（施設）を出発してから住居（施設）に帰着するまでの間です。

Q ボランティア活動中、コタクトレンズを壊してしまいました。ボランティア活動保険で補償されますか?

A いいえ。ボランティア個人の所有物は、補償の対象ではありません。眼鏡や入れ歯も同様です。

Q 転居地または、他県で活動中に事故が発生した場合、どこに事故報告をしたらよいのでしょうか?

A 保険加入受付社協に、ただちに連絡をしてください（雫石町社協で保険に加入された場合は、雫石町社協にご連絡下さい）。

その他、詳細につきましては、町ボランティアセンターまでお問い合わせ下さい。



TEL 692-2230

平成二十五年度に加入した方の補償期限は、平成二十六年三月三十一日までになります。新規加入の方も継続的に活動される方も忘れずにご加入し、安全に活動して下さい。

「手話サークル・滴」会員募集

活動日
第1, 3, 4土曜日
14時~16時

内容
手話の勉強会
聾啞者との交流会
行事への参加
問い合わせ・町V活センター
692-2230 担当 武田



「手話サークル・滴」は、二十代〜九十代の手話に興味のある会員の集まりです。聴覚障がい者と交流しながら、和気あいあいと手話を勉強し、四季折々の行事をしています。現在、会員募集中です。一緒に活動しませんか？



スノーバスターズ無償巡回訪問終了

一月四日から、毎週土曜日に一人暮らし老人世帯並びに夫婦老人世帯、虚弱老人世帯に限り、除雪が困難で安否確認が必要とされる世帯を無償で巡回してまいりました。スノーバスターズは、二月二十二日で今年度の活動を終了しました。活動に参加していただきましたボランティアの皆様、大変ありがとうございました。

引き続き、三月中は有償での除雪依頼を随時承ります。

問い合わせ

町ボランティア活動センター
(692) 2230

担当 武田・澤口

除雪 1時間以内 一人 千円

軽トラや除雪機を使用した場合、別途料金が発生します。お問合せ下さい。



ボランティアの皆様、ありがとうございました。



クラブ男厨会の皆様には、受付係として手際よく活躍していただきました。ありがとうございました。

二月八日(土)に開催いたしました「第三十七回 栗石町社会福祉大会」では、ボランティアの皆様は協力をお願いし、滞りなく終了することができました。当日は、たくさんの方々に来場いただきました。ありがとうございました。

ボランティアの達人 その26

今回は、栗石町社会福祉大会で、「栗石町」を受賞した「晴山ミツ子」さんです。

晴山さんは、ふれあいサロン「和野」の設立当初から、スタッフとしてサロンの運営等にあたり地域福祉の向上に努めました。(以下、質問・Q 回答・A)。

Q この度は、受賞おめでとうございます。



A ありがとうございます。

Q 長年、ボランティアを続けてこられた理由は、何ですか？

A 夫がなくなつてすぐに、ふれあいサロンの立ち上げました。会費のことなど、頭を悩ませることもあり、大変なこともあります。でも、「やらなければ」という思いと、自分自身の健康のためという気持ちでしようか。

Q 活動を継続する秘訣は、何ですか？

A 日程を決めずに、無理なく活動していることでしょうか。会員が減らないように、「ふれあいサロン」を継続していくことを、これからも大切にしていきたいと思っています。



第26回地域福祉を支援する「わかば基金」募集

「わかば基金」は、地域に根差した福祉活動を展開しているグループが、活動の幅を広げるための支援をしています。

①支援金部門(二グループ、最高百万円) 国内にある一定の地域に福祉活動の拠点を設け、この支援金により活動の輪を広げたいというグループ。

②リサイクルパソコン部門(二グループ、三台) パソコンを利用して、すでに地域で活躍な福祉活動に取り組み、台数を増やすことで、より高齢者や障害のある人に役立ち、活動の充実を図れるグループ。

③東日本大震災復興支援部門(二グループ、最高百万円)

被災地に活動拠点があり、その地域で福祉活動をすすめているグループや支援金で活動場所の再整備を進めたい、被災地に必要な新たな事業を展開したいと考えているグループ。

申し込み方法
栗石町社会福祉協議会に問い合わせる
他、必要事項を記入の上、NHK厚生文化事業団へお申込みください。
申請書はホームページからダウンロードできます。
<http://www.npvo.or.jp>

締め切り
3月31日

編集後記

先日、スノーバスターズで御所地区を巡回訪問。訪問先の方は、九十一歳のお誕生日を迎えられ、まごころ配達運動でプレゼントされた「ハッピー」を大切に下さっていました。寒い季節ですが、温かい気持ちをお伝えできました。



(武田)



Q 今後の活動に向けて、一言、お願いいたします。

A これからもできるだけ、会員の皆さんが全員参加できる「ふれあいサロン」でありたいと考えています。以前から、「ふれあいサロン」の会員の皆さんで集まり、「手作り雑巾」を縫い、小学校に寄贈しています。これからも、地域に貢献する活動をしていきたいです。でも、様々な事情から会員が減少してきています。今年度は、会員数が十二人になりました。是非、会員が増えてほしいと思っています。